

みの〜れ20歳記念事業

お祝いの式典	2
リレートーク	4
みの〜れ20歳の歴史展	6
BIRDモザイクアート	7
交流会	8
BIRDぬり絵アーティストたちの芸術展	10
黄色い袋と魔法のトンネル	12
みんなDEわくわくコンサート	14
光と風のステージCue タンゴキンテート	15
(応援事業) 響け!轟け!ありがドーン!!	16
(応援事業) 地球のステージ	17

みの〜れプロジェクト年表

四季文化館企画実行委員会	18
みの〜れ支援隊スタッフ調整会議	19
公演スタッフ	20
みのんば編集局	21
スタッフエッグ	22
演劇ファミリーMyu	23
Jolly forest Jazz Orchestra	24
ワークショップリーダー	25
OMT-JAPAN	26
陽だまり横丁	27
ときめき美の小径	28
見つける・みがく・光をあてる芸術展	29
みんなDEわくわくコンサート	30
小美玉さくらフェスティバル	31
光と風のステージCue	32
チーム・アラカルト/art minole	33

みの〜れ20歳記念事業実行委員会委員コメント/編集後記

ワタシの、みの〜れを見つけよう。  
 ハタチで、

# ハタチ





# お祝いの式典



実行委員長 瀧澤比佐乃さん

「未来を担う、子どもたちの活躍の場にしたい！」20数年前、みの〜れを生み出す計画を立てたとき、誰もが賛同したのはこんな考え方でした。これからも、みの〜れでたくさん子どもたちが育ち、誇りをもって巣立っていき、いつか戻って来てさらに活躍してほしいです。

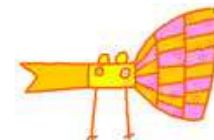
今日はみの〜れ20歳の誕生日。お祝いの式典がはじまりました。どんなお祝いをしようか、何をしようか、実行委員は2年間考え準備を重ねてきました。委員全員が見守る中、式典の幕が開きました。実行委員長の瀧澤比佐乃さんは、20年間みの〜れを大切に育ててきた多くの人の思いの深さを語り、今まで結ばれた人々の絆をこのお祝いの会でさらに深めたいと話しました。

島田幸三市長は来賓としてあいさつし、みの〜れの成長は島田穰一前市長が指揮した「小美玉市まるごと文化ホール構想」が花開いた結果であり、その思いを今後も受け継いで育ててほしいと話しました。荒川一秀市議会議長は、みの〜れ誕生時の美野里町議会議長で、当時は箱物批判が渦巻く中、建設にこぎつけたいき

さつを語り、今まで創意工夫してみの〜れを支えてきた住民と関係者に感謝の言葉を伝え、さらなる飛躍を願いあいさつを結びました。

そして、みの〜れとともにこの20年を歩んできた4組の登壇者によるリレートークがはじまりました。美野里中吹奏楽部の演奏と演劇部の群読が力強く感動的で、この子どもたちが次の時代を担い、みの〜れと一緒に成長していくことを多くの人が確信しました。





# リレートーク

みのくれを人生のそばにおいてイキイキ暮らす人たちが語る



チームリーダー柴山真理子さん

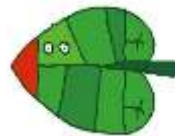
みの〜れ誕生までの6年半を、参画した住民自身の手で描いた本が『文化がみの〜れ物語』。2022年の未来日記からはじまり、2002年から20年後へのラブレターで締めくくられており、予言通りにみの〜れは呼吸する文化センターとして成長し続けています。今回のリレートークはこの本を基に構成、演出した舞台です。

みの〜れを人生のそばにおいて、いきいき暮らすライフスタイルを実践している人たちが、みの〜れライフのすすめをテーマに語るリレートーク。20歳の誕生日を迎えるみの〜れにふさわしい4組6名が登場しました。

BIRDとともに20年寄り添い続けてきたおおたけかずみさん、みの〜れのおかげで人生が変わり独立開業した藤本隆幸さん、みの〜れはサードブレイスという植田麻子さん・池津いく子さん姉妹、みの〜れがあったから輝けたという武石千絵子さん・春空さん母娘。それぞれが20歳の誕生日を迎えたみの〜れにお祝いのメッセージや、今まで自分たちが体験したエピソードを語りました。

リレートークに彩りを添えたのは美野里中学校吹奏楽部とピアノの演奏。『文化がみの〜れ物語』

に書かれていた「2002年からのラブレター」を演劇部が群読し、観客の胸を熱くしました。みの〜れの「〜」は、山あり谷ありという意味です。これからの人生も素晴らしいものでありますように。



# みのくれ 20歳の歴史展



みのくれには、誕生前から住民プロジェクトがスタートし、少しずつ増えながら現在は13のプロジェクトがあります。歴史展示チームは、各プロジェクトで活躍している人たちに光をあてて活動の様子を紹介し、懐かしい写真も添えて展示しました。

また、子どもたちの未来に向けた企画として、光が降り注ぐホワ

イエにメッセージツリーを二本設置。みのくれコミュニケーションキャラクター「BIRD」の生みの親、おたけかずみさんデザインの葉っぱBIRDに夢や願いを書いて飾りました。小美玉市内の幼稚園・保育園の子どもたちと市内外のたくさんの人々が参加し、集まった葉っぱBIRDの総数は1000枚を超えました。参加した子どもたちが自分の葉っぱBIRDを見つげようと、休日に家族とともに訪れて賑わい、かわいい歓声が響き渡りました。メッセージツリーに寄せられた一枚一枚の思いが未来に向かって成長しますように。



チームリーダー 植田みのりさん

これまでみの～れに関わった人々の思いを、歴史展としてときめき美の小径につづりました。いきいきとしたみの～れライフを楽しむ住民の姿をゆっくり見てもらいたいです。この企画にたくさんの方が参加してくれたこと、人との絆が深まったことに感謝しています。

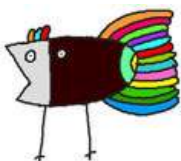


力満点。その場で撮った写真がモザイクフォトアートに組み込まれる仕掛けで、子どもたちは夢中で自分の写真を探したり、スクリーンでの影絵遊びをしたりするなど、広い会場でのびのびと遊んでいました。「自分の写真を見つけに来たら友達もたくさん写っていて、良い思い出になりました。」

笑顔いっぱい、色とりどりのBIRDモザイクアートは、人とのつながりが感じられ、みの～れらしい作品になりました。

「BIRDぬり絵アーティストたちの芸術展」とのコラボイベント。多数の写真をモザイクのように組み合わせて作成した「BIRD」をポスター展示し、かつプロジェクトで撮影した企画。

市内で行われたイベントに出向き撮り集めた写真で作成したモザイクフォトアートが、風のホールの壁面いっぱいに写し出され迫



# BIRDモザイクアート



チームリーダー 柳井郷平さん

コロナ禍で写真の収集が心配でしたが、皆さん快く協力してくれたので感謝しています。たくさんの方が関わりスケールの大きな作品になりました。みの～れらしい作品や展示を見て参加したり、驚いたり、感動したりの思いで活動してきました。これからもみの～れで楽しいことをしていきたいです。



みのゝれ20歳の誕生日の締めくくりに来賓と実行委員による交流会を開催しました。20年前苦労を共にした仲間が再会し、20年間で出会った新しい仲間が交流して思いを語り合いました。一人3分間で語るミニリレートークの順番はくじ引きで決め、みのゝれに縁が深い方々が思い出や今の思いを語りました。

ミニリレートークのトップバッターは、地域文化コーディネーターとして10年間尽力した枝見太朗さんです。みのゝれは住民と行政による共創の理想像だと語りました。

次は初代館長沼田和美さん。当時、建設に反対する住民もいた中で、未来をテーマに据えて、住民主体で計画を進めたことを振り返りました。

山口茂徳さんは民間から登用された三代目館長。みのゝれに対

する住民の評価を重視し、人の心を豊かにするきっかけ作りをしたいと思いつながりのゝれを育ててきたことを語りました。

前市長、島田穰一さんは「おらがまちは、おらが手で」と住民参画のまちづくりを推進してきました。これからも住民の手でみのゝれをますます輝かせてほしいと話しました。

水谷俊博さんは、みのゝれの建築設計を担当し「文化がみのゝれ物語」の出版にも関わりました。キャストとして出演したこけら落とし公演の本番前に感極まって大号泣した裏話を披露。みのゝれは夢がもてる場所と高く評価していました。

最後に語ったのは、デザイナーの宮部浩司さんです。20年前に作った『文化がみのゝれ物語』のプログラムが実現していることに感動。講師を務めたデザイナーワークショップで、自分が目指す表現は「人を元気にする、笑顔にすることだ」と気づき、人生を変えた発見だったことを明かしていました。



# BIRD ぬり絵アーティストたちの芸術展



代表 瀧澤比佐乃さん

「BIRDワークショップは自分を発見する場。みんな本当は感性豊かで、自由なはず。子どもたちと一緒に自分らしい人生を見つけましょう！」というおたけさんの言葉に心が動きました。参加した方から「今まで知らなかった世界を発見した気がする！」という感想も。BIRDと共に彩り豊かな芸術展を目指していきます。

みのゝれ誕生前からアートディレクターとして関わりのある、おたけかずみさんプロデュースによる参加型アート展を開催。コミュニケーションキャラクター「BIRD」を使った13のワークショップでは、大きなBIRDポスターにみんなの色をぬったり、1本の毛糸を使って自分だけのオリジナルBIRDを描いたり、みのゝれの森で枝打ちされた廃材を使って大きな壁面アート作ったりして、できあがった作品は次々と会場に展示されました。その他にも五感で感じるアートとして、色に関する絵本の読み聞かせや、バードコールを鳴らして鳥を呼ぶコーナーなどを企画。参加者は会場内を自由に動き回ってお気に入りの場所を見つけました。

平日は市内の保育園の子どもたち、休日は家族連れが訪れ、何

度も通うリピーターもいて連日大賑わい。「森の再生」と「子どもたちの未来のために」という20年前から続く変わらぬ思いが、みのゝれ20歳記念の年に再び注目された芸術展となりました。



# 黄色い袋と魔法のトンネル

みのゝれ20歳記念住民ミュージカル



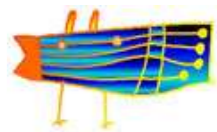
代表 柴山真理子さん

みのゝれとMyuが共に20歳を迎えられることを心から感謝しています。舞台作品作りはお互いを理解・尊重することから始まり、仲間と協力して築き、喜びを分かち合います。これからもMyuは出会いの懸け橋となり、人々の自己表現の場、コミュニケーションを高める場、夢を叶える場として輝き続けていきたいです。

みのゝれ20歳記念公演の演目選ばれたのは、みのゝれ住民劇団演劇ファミリーMYUが8年前に制作・上演した『黄色い袋と魔法のトンネル』でした。みのゝれ近くの遠州池・池花池を舞台に、魔法のトンネルをくぐって生き物たちの世界へ飛び込んでいく小学生たちの勇気と友情の冒険ファンタジーです。登場する子どもたちが、時には悩みながらも成長を遂げるこの物語はみのゝれの成長そのものであり、20年前のこの落とし公演『田んぼの神様』のスピンオフ作品でもあるため、当時を思い出しながら楽しむこともできました。最終日はカーテンコールが4回も続き、会場は大きな拍手と歓喜に包まれました。

本作は、小学生から80代まで100人以上のキャストやスタッフが活躍。さまざまな世代が対話を重ねて作品制作に臨みました。企画・脚本・道具・衣装・広報などあらゆる分野を自分たちで手掛け、さらにここで育った若い世代が子どもたちを導く役割を果たしたことは、この20年間の成長の確かな証となり、感慨深い記念公演となりました。





# みんなDEわくわくコンサート



ハープとヴァイオリンとうたによる、みんなDEわくわくコンサートを開催しました。出演は、梅津三知代・大河内涼子・大澤建・沢崎恵美(ハープ・ヴァイオリン・バスバリトン・ソプラノ)。

0歳から参加することができ企画で、本作は森のホールでの特別開催。虹の架け橋をくぐって会場に入ると、ステージの上にはか

わいらしいバルーンアートがいくつも並んでいて、子どもたちの歓声が聞こえてきました。ハープやヴァイオリンの優しい音色に包まれた心地よい雰囲気です。抱っこされてすやすやと寝てしまう赤ちゃんや一緒に歌を口ずさむ子どもたち。リズムに合わせて身体を大きく動かしながら家族で楽しむコンサートでした。

小さな子どもと一緒にプロのアーティストのコンサートを気軽に楽しめるこの企画は、美野里中学校の生徒4名が実行委員に加わり、親子ほど歳の離れたメンバー同士が意見を出し合い会議を重ね創り上げたものです。新しい風を吹き込んだ、みの〜れ20歳記念にふさわしい公演でした。



代表 白土礼子さん

2002年、みの〜れ誕生前にはじまった「みの〜れマタニティコンサート」。みの〜れと、生まれてくる赤ちゃんの誕生を重ねて生まれたこの企画は、みの〜れの成長とともに名前を変えながら、若い世代とみの〜れをつなぐ大切な役割を担っています。

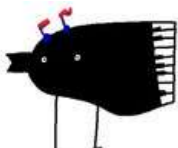


風のホールと風の広場をライブハウスのような空間にして開催される光と風のステージCue。「Cue」は「きっかけ」という意味。このステージでプロジェクトメンバーとアーティストと観客が出会うきっかけをつくっています。

今回は、みの〜れ20歳を記念したスペシャル版として小林萌里・廣津留すみれ・北村聡・大柴拓

田辺和弘(ピアノ・ヴァイオリン・バンドネオン・ギター・コントラバス)の「タンゴキンテート」を企画しました。アルゼンチンの作曲家ピアソラの「デカリシモ」からはじまり、アンコール曲まで情熱と異国情緒があふれたラインナップで、会場は大変盛り上がりしました。

プロジェクトチームは、みの〜れ20歳記念のこの企画に特に力を入れ、何度も話し合い、時間をかけてアーティストを探したそうです。さまざまな縁が繋がったおかげで今回の五重奏が実現しました。華やかな夜のステージ終演後、観客とメンバーは感動を分かち合いました。アーティストとプロジェクトメンバーと観客の距離がとても近いことが光と風のステージCueの魅力の一つ。心がつながるライブで、ますますみの〜れの輪を広げていきます。



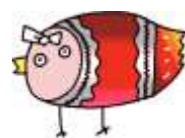
# 光と風のステージCue タンゴキンテート



代表 山本純子さん

一人では実現できない企画を、仲間と対話をしながら協力して実現していく過程を楽しんでいます。ここではさまざまな世代のメンバーとの交流があり、いろんなジャンルの音楽との出会いもあります。素晴らしい音楽を通して人とのつながりを深め、みの〜れらしいステージを届けようと思います。





# 響け！轟け！ありがとうドーン！



結成30周年記念演奏会「響け！轟け！ありがとうドーン！」を開催しました。みのゝれ誕生式典での演奏が、みのり太鼓結成10周年で行いましたが、当時、県内の和太鼓団体で単独コンサートを行った事例がなく、全てが手探りで大変な思いをしたと篠原会長は語ります。

ここから20年間にわたり、経験を一つ一つ重ね、今回の公演に至りました。定番の演目をはじめ、小学生新メンバーも加わっての全員演奏や、大人チーム「楽あ(らい)」による創設時の歴史を感じる演目への挑戦と、子どもも大人も活躍した多彩な内容に会場は大いに湧きました。終演後、観客から激励と「ありがとう」の言葉がかけられ、会場全員の心が満ちているようでした。

また、小美玉市出身の若手デザイナー小林礼奈さんにチラシデザインを、みのゝれ支援隊にはフロント運営サポートを、演劇ファミリーMYUには影アナを務めてもらうなどコラボし、新たな創造活動を生み出しました。



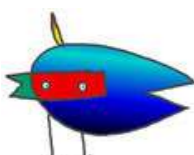
会長 篠原孝司さん

みのゝれ20歳、誠にありがとうございます。これまでたくさんの方々が関わり、支えあい、今や誰もが知る存在になられたこと誇りに感じます。これからもみのゝれミッション「3つの『つ』」を大切にしながら、文化と人が呼吸する「オンリーワンの文化ホール」を目指されることを願っています。



1969年にはじまった「紛争、災害、貧困の地の子どもたちに音楽と映像で近づく」というコンセプトのみのゝれ公演です。みのゝれ初期に企画実行委員をしていた福田ゆかりさんは、内田さんと同時期に「地球のステージ」を観ていました。福田さんは何とかしてみのゝれで公演を開催しようと協力者を集め、200

6年3月に第1回公演が実現しました。以降、みのゝれでの公演は今回で8度目となります。小学生のときに公演を観て感動し、事務局の福田さんに手紙を出したという小里直通さんは今回は実行委員として尽力しました。講演者で現役医師の桑山紀彦さんに実行委員会からリクエストしたのは「ソマリア篇」と「旧ユーゴスラビア篇」でした。桑山さんは「このシリーズに出てくるぼろぼろのズック(靴)の話が、その後大きなエネルギーをつぎ込むきっかけとなり、全国の学校で『地球のステージ』をやりたいと思ったことを再認識しました。いろんな意味で地球のステージも今、原点回帰の時期なのだと思います。みのゝれの皆さん、また会いましょう！」と力強く語りました。

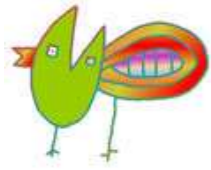


# 地球のステージ



実行委員長 内田欣作さん

今から21年前、PTA研修で初めて「地球のステージ」を観ました。仕事が忙しかった私は一番後ろの席に着き、途中退席するつもりでしたが、公演が始まると金縛りにあったように動けませんでした。過去の自分が多くの人に迷惑をかけて生きてきたことを思い返し、涙が止まりませんでした。



# みの〜れ支援隊の調整役 スタッフ調整会議



2003-2006

2003年 スタッフ調整会議発足  
支援隊活動へのポイント制導入  
2004年 3月 第1回スタッフ調整会議(以後年6回程度)  
2004年 5月 みの〜れ支援隊総会はじまる  
2005年10月 支援隊パソコン設置 R2を支援隊の拠点にする  
2006年 1月 宮城県仙南芸術文化センターえずこホール視察



2007-2011

2007年 2月 小川文化センター、玉里文化センター視察  
2007年6~11月 「ありがとう。5歳のみの〜れ」 実行委員兼ねる  
2008年 上半期・下半期公共ホールラインナップ送付はじめる  
2008年 9月 国民文化祭ボランティア研修に参加  
2009年 5月 みの〜れ支援隊総会改め交流会としてはじまる  
2009年12月 普通救命講習会(AED)はじまる  
2010年 通年 みの〜れ10歳準備委員兼ねる  
2011年 通年 みの〜れ10歳記念事業各部門に総力をあげて邁進



2012-2016

2012年 みの〜れの泉設置、清掃当番制はじまる  
2012年12月 新潟県魚沼市小出郷文化会館視察  
2013年 4月 交流会講演「ボランティアとは！」(講師:枝見太郎氏)  
2014年11月 岩手県北上市文化交流センターさくらホール視察  
2016年 みの〜れ15歳記念事業についての話し合いはじまる  
2016年 9月 認知症の理解を深める研修実施



2017-2022

2017年 2月 群馬県前橋市児童文化センター、アーツ前橋視察  
2017年 通年 みの〜れ15歳記念事業実行委員を兼ねる  
2021年 3月 通貨券(ポイント)取扱い店舗の拡大

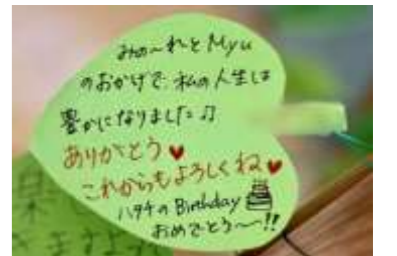


# 事業・運営ルールのジャッジ機関 四季文化館企画実行委員会



みの〜れ誕生前、プレイベントを住民参画により推進してきた「美野里四季を彩る文化のまちづくり創造委員会」を発展的に解消し、みの〜れ誕生時に発足。公募市民10名で構成し、みの〜れ自主事業の選定を行うアーツカウンシル(※)。生活者の視点から、地域の幸せにつながる事業を審査・決定します。支援組織の実情を把握し、助言や組織同士のマッチングなど幅広い機能も果たしています。

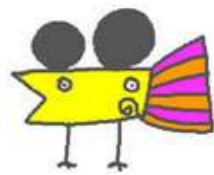
※アーツカウンシル:文化・芸術の環境整備に携わる第三者機関を指し、公的な資金を提供する文化・芸術事業を審査・決定します。発祥の地は英国。政治家や行政官ではない人たちが判断する点がポイントで、支援先の活動をフォローし、成果を評価する役割も担います。文化・芸術活動は社会のインフラだからこそ、公的な資金による文化政策が必要になり、事業を行う組織と行政とを仲介する役割は一層大切になります。



## 四季文化館企画実行委員会が事業選定する9つのポイント

<p>① 新たな人材を獲得するための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☐ 持ちではなく攻めの姿勢になっているか</li> <li>☐ ターゲットを絞り、的確に訴求しているか</li> <li>☐ 獲得手法は工夫されているか、的確か</li> </ul>	<p>② 新たな人材の参加・参画のしやすさ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☐ 参加のハードルは低く工夫しているか</li> <li>☐ 子ども〜10代までが参加・参画しているか</li> <li>☐ 新規者の活動役割が明確化されているか</li> </ul>	<p>③ 地方創生の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☐ 在住、出身者、市にゆかりのあるアーティスト・クリエイターを起用しようとしているか</li> <li>☐ その人と子ども・学生との接点を作っているか</li> </ul>
<p>④ 従来事業の独自性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☐ どの地域でもよくある企画でないか</li> <li>☐ 簡単に流行ったものではないか</li> <li>☐ なぜみの〜れで実施するのか説明できるか</li> </ul>	<p>⑤ 横断的な取り組み姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☐ 他事業や他チームとコラボしているか</li> <li>☐ 社会課題に取り組みar小美玉市の長所を伸ばすため他分野とのコラボを考えているか</li> </ul>	<p>⑥ 情報発信の姿勢・体制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☐ 独自の情報発信体制を備えているか</li> <li>☐ 日頃から活動や取り組みの発信をしているか</li> <li>☐ 過去事業でマスコミで取り上げられているか</li> </ul>
<p>⑦ 経済効果・経済波及効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☐ 小美玉にお金が落ちる仕掛けをしているか</li> <li>☐ 関係人口(出身者、関係者、リピーター、ふるさと納税者等)が増える仕掛け・工夫</li> </ul>	<p>⑧ スケジュール・実施体制の主体性と力量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☐ 全体スケジュールとおり進められる体制か</li> <li>☐ チームに主体性は備わっているか</li> <li>☐ 企画力、企画遂行力があるか</li> </ul>	<p>⑨ 事業コストの独自調達</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☐ 予算は妥当かどうか説明できるか</li> <li>☐ 市補助金以外(入場料、参加費、広告、寄付、助成金、物品寄付等)も獲得しようとしているか</li> </ul>





## おみたMagazine取材・編集 **みのんぱ編集局**



2002-2006

2002年11月 『文化がみの～れ物語』発刊  
 2003年 「みのリズム」の取材、編集を担う  
 2004年 7月 「なんちゃって編集記者」研修(講師:杉本実季氏)  
 2005年 3月 「みのリズム」編集ワークショップ(講師:宮部浩司氏)



2007-2011

2007年 8月 「みの～れライフのすすめ」はじまる  
 2008年 3月 「みのリズム」88号で閉じる  
 2008年 7月 「おみたMagazine」発行  
 (ネーミング考案者:加賀谷賢明氏)  
 2010年 6月 茨城新聞社にて研修(講師:末武奏子氏)



2012-2016

2012年11月 みの～れ10歳記念誌『まちづくり編集会議』発刊  
 (表紙デザイン:出頭朋子氏)  
 2013年通年 『文化がみの～れ物語』『まちづくり編集会議』の  
 販売促進活動  
 2014年 6月 「伝わる紙面づくりのコツ」研修(講師:和田聡子氏)  
 2016年 9月 公文協発行「広報ハンドブック」の取材を受ける  
 2016年11月 「おみたMagazine」100号



2017-2022

2017年12月 みの～れ15歳記念として『みの～れ15歳記念誌』発行  
 2018年 1月 土浦市図書館視察研修  
 2019年10月 茨城新聞社出前教室研修  
 2023年10～3月 新年度のリニューアルに向けて検討  
 2023年 3月 みの～れ20歳記念誌発行予定



## フロント運営スタッフ **公演スタッフ**

2003-2006

2003年 公演スタッフ発足  
 2004年 2月 公演スタッフ研修(講師:星乃もと子氏)  
 2005年 2月 司会者について学ぼう!研修  
 2005年 6月 公演スタッフ研修



2007-2011

2007年 公演スタッフスタイルブック作成  
 2009年 7月 公演スタッフ研修(接客・実技)  
 2010年 「公演スタッフちょいもてBOOK」作成  
 2010年 9月 接客・実技研修(講師:河津征子氏)  
 2010年12月 横浜みなとみらいホール視察研修



2012-2016

2012年 3月 マナーブック「ちょいマナBOOK」作成  
 2012年 3月 いわき芸術文化交流館アリオス視察研修  
 2013年 1月 マナー研修(講師:高橋基氏)  
 2014年11月 スタッフネームプレート作成  
 2015年 5月 支援隊総会で、おもてなし研修  
 2015年10月 高校生向けおもてなし研修をはじめ  
 2015年12月 研修を受けた高校生が中学校鑑賞事業で実践



2017-2022

2017年 みの～れ15歳記念として、記念缶バッジを作成  
 2018年10月 第1回全国ヨーグルトサミット運営協力  
 2018年 2月 新人向けおもてなし研修  
 2019年 7月 肝高の阿麻和利実行委員会向けおもてなし研修  
 2019年 8月 江東公会堂ティアラこうとう視察研修  
 2020年 3月 公演スタッフ動画「ここがポイント!」作成  
 2020年 5月 コロナ禍での公演スタッフの対応マニュアル作成  
 2023年 2月 新人向けおもてなし研修  
 公演スタッフTシャツ作成





# みの〜れ住民劇団 演劇ファミリーMyu



2002-2006

2002年11月3日 みの〜れこけら落としミュージカル「田んぼの神様」  
 2003年 7月 「イマジン」  
 2004年 8月 「ゼロ弾きのゴーシュ」ほか3作品  
 2005年 8月 「光れ！」  
 2006年 4月 「こぶけやきがないている」  
 2006年 7月 「真夏の白昼夢」



2007-2011

2007年 4月 「わが家の天ぶら」  
 2007年 8月 「ザ・スケッチ」  
 2007年 9月 「ここで逢えたら・・・vol.01」  
 2008年10月 「RENDA」  
 2009年 2月 「ここで逢えたら・・・vol.02」  
 2009年 4月 「ウェディング・ロード」  
 2009年12月 「聖夜の贈りもの」  
 2010年 4月 「ここで逢えたら・・・vol.03」  
 2011年 9月 「ヒーロー」



2012-2016

2012年11月 「未来ロケット」  
 2013年 4月 「かぜにうたえば」  
 2013年 9月 「ここで逢えたら・・・vol.04」  
 2014年 4月 「ようそろ」  
 2014年10月 「黄色い袋と魔法のトンネル」  
 2015年 7月 「Twinkle☆Twinkle -天の川にかける願い-」  
 2015年12月 「聖夜の贈りもの」  
 2016年 4月 「かぜにうたえば」  
 2016年 7月 「Twinkle☆Twinkle -天の川に書いたぼくのゆめ-」  
 2016年 9月 「ここで逢えたら・・・vol.05」



2017-2022

2017年 7月 「Twinkle☆Twinkle -ゆめさがしの大冒険-」  
 2017年10月 「まんまるムーン」  
 2018年10月 「ヨーグルトのまちで」  
 2021年 3月 「わが家の天ぶら」  
 2022年10月 「黄色い袋と魔法のトンネル」



# 舞台技術スタッフ スタッフエッグ



2003-2006

2003年 スタッフエッグ発足  
 2004年 8月 美野里中演劇部仕込み手伝いはじまる  
 10月 市民文化祭手伝いはじまる  
 2005年 2月 プロコンサート仕込み見学  
 3月 みの〜れ音楽祭(現さくらフェスティバル)手伝いはじまる  
 6~7月 技術研修 地域アクティビティ事業仕込みはじまる  
 2006年 照明ワークショップ・音響ワークショップはじまる



2007-2011

2007年 舞台技術ワークショップはじまる  
 2007年 安全管理ワークショップはじまる  
 2008年 普通救命講習会(AED)実施  
 舞台付属品資料作りはじまる  
 2009年 2月 いわき芸術文化交流館アリオス視察  
 2009年 安全管理講習会はじまる  
 2010年 5月 アピオスとコスモスのバックステージ研修  
 「パッチ」「楽器取扱い」「ピンスポ」WSはじまる  
 2011年 道具作りワークショップはじまる



2012-2016

2012年 2月 彩の国さいたま芸術劇場視察  
 2012年 6月 群馬音楽センター視察  
 2013年 8月 宮城県中新田バツハホール視察  
 2014年 6月 ゆうゆう十王・Jホール 東海文化センター視察  
 2014年 8月 舞台美術WS(日本劇場技術者連盟から講師)  
 2015年 8月 高萩市文化会館・日立シビックセンター視察  
 2015年10月 ピアノ解体ショー



2017-2023

2017年 ワイヤレスマイク取扱い研修  
 舞台の板目研究活動がはじまる  
 2018年 7月 静岡文化芸術大学視察研修  
 2018年12月 「Inter BEE 2018」@幕張メッセ視察研修  
 2019年 8月 YAMAHAデジタルミキサー  
 及びDanteネットワークセミナーin茨城  
 2020年 9月 舞台技術講習会(美野里中演劇部)  
 2021年11月 みの〜れ職員向け音響ワークショップ





# 体験教室を实践 ワークショップリーダー



2003-2006

2003年度 ワークショップリーダー発足  
和太鼓体験の企画運営を手がける  
太鼓ワークショップ 2回実施(12月、3月)

2004年度 太鼓ワークショップ 2回実施(6月、2月)

2005年度 太鼓ワークショップ 2回実施(6月、1月)

2006年度 太鼓ワークショップ 1回実施(1月) 親子の部はじまる



2007-2011

2007年度 太鼓ワークショップ 2回実施(7月、1月)

2008年度 太鼓ワークショップ 2回実施(5月、1月)

2009年度 太鼓ワークショップ 2回実施(7月、1月)

2010年度 太鼓ワークショップ 2回実施(6月、2月)

2011年度 太鼓ワークショップ 2回実施(2月、3月)



2012-2016

2012年度 ワークショップリーダー発足から、10周年を迎える  
太鼓ワークショップ 2回実施(1月、3月)  
さくらフェスティバルにてWS成果発表はじまる

2013年度 太鼓ワークショップ 2回実施(1月、3月)

2015年度 太鼓ワークショップ 2回実施(1月、3月)

2016年度 太鼓ワークショップ 2回実施(10月、1月)



2017-2022

2017年度 太鼓ワークショップ 1回実施(8月)

2018年度 太鼓ワークショップ 4回実施(12月、1月、2月、3月)  
BIRDぬり絵ワークショップ企画を手がける

2019年度 太鼓ワークショップ 2回実施(1月、2月)  
BIRDぬり絵ワークショップ 同時開催  
家庭教育学級太鼓ワークショップ実施(9月)

2020年度 家庭教育学級太鼓ワークショップ実施(11月)  
太鼓ワークショップ 1回実施(3月)  
BIRDぬり絵ワークショップ 同時開催

2022年度 ワークショップリーダー発足から、20周年を迎える  
太鼓ワークショップ 1回実施(3月)  
BIRDぬり絵ワークショップ 同時開催



# みの〜れ住民楽団 楽団四季 Jolly forest Jazz Orchestra



2003-2006

2003年11月 住民楽団発足

2003年12月 県芸術祭「ジャズフェス in 美野里」出演はじまる

2004年 2月 第1回みの〜れ音楽祭出演  
羽鳥ふれあい広場出演

2005年 5月 地域アクティビティ活動はじまる

2006年 7月 1st LIVE (ファースト ライブ)



2007-2011

2007年11月 「ありがとう。5歳のみの〜れ」出演

2008年10月 住民ミュージカル「RENDA」  
3団体コラボ企画として出演

2008年11月 国民文化祭「いばらきビッグバンドジャズフェスティル」

2010年 4月 2nd LIVE (セカンド ライブ)

2010年11月 なつかしの名画座「グレンミラー物語」上映前演奏

2011年 7月 スチューデントクリニックはじまる



2012-2016

2012年 3月 みの〜れ10歳記念事業「Message for...」  
レコーディング

2012年 6月 3rd LIVE (サード ライブ)

2012年 9月 みの〜れ10歳記念事業  
「クラジャズ in みの〜れ」出演

2013年 5月 日米親善コンサート出演

2015年12月 4th LIVE (フォース ライブ)

2016年 8月 高校生へのスチューデントジャズクリニック

2016年 9月 「フロントページオーケストラ in 小美玉」出演



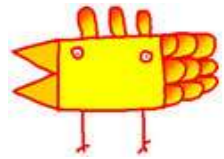
2017-2022

2017年12月 みの〜れ15歳記念事業  
「5th LIVE (フィフス ライブ)」

2018年10月 第1回全国ヨーグルトサミット in 小美玉に出演

2022年10月 県芸術祭いばらきビッグバンドフェスティバル出演





# ハワイエ展示企画 陽だまり横丁



2007-2011

2007年 4月 陽だまり横丁はじまる  
 第1回展示「じまん横丁」  
 2007年11月 ありがとう。5歳のみの～れ展  
 2008年 3月 第1回陽だまりフェスタ  
 2009年 9月 みの～れ川柳公募展を初開催  
 2010年 5月 福島県諸橋近代美術館視察  
 2010年 9月 みの～れ流フォト575  
 2011年10月 長野県セゾン現代美術館、軽井沢千住博美術館視察  
 2011年12月 第3回みの～れ川柳作品展  
 [サンタさんに願いを込めて]



2012-2016

2012年通年 みの～れ10歳記念事業「みの～れ紹介」  
 —各部門・各委員会の10年の歩み—  
 2013年 2月 第4回みの～れ川柳作品展「陽だまり」  
 2014年 2月 第5回みの～れ川柳作品展「告白」  
 2014年 5月 東京ビッグサイト デザインフェスタ視察  
 2015年 2月 第6回みの～れ川柳作品展「デート」  
 2015年 8月 第7回みの～れ川柳作品展「プレゼント」  
 2016年 2月 東京都印刷博物館、竹久夢二美術館視察  
 2016年 5月 マスコットキャラクター決定「ぎぶとんネコ」



2017-2022

2017年 2月 第8回みの～れ川柳作品展「すれ違い」  
 2017年 5月 陽だまり横丁10周年記念パーティー開催  
 2017年 6月 六本木 森美術館視察  
 2018年 2月 第9回みの～れ川柳作品展  
 「今日、指輪買いに行きます」  
 2018年12月 池袋サンシャインシティ ナンジャタウン視察  
 2019年 2月 みの～れ川柳作品展Final「Happy Marriage」  
 2019年 8月 陽だまり横丁プレゼンツ 化けねこ横丁vol.1 開催  
 2020年 8月 陽だまり横丁プレゼンツ 化けねこ横丁vol.2 開催  
 2022年 8月 陽だまり横丁プレゼンツ  
 化けねこ横丁vol.3 -Revenge- 開催



# パフォーマンス集団 OMT-JAPAN

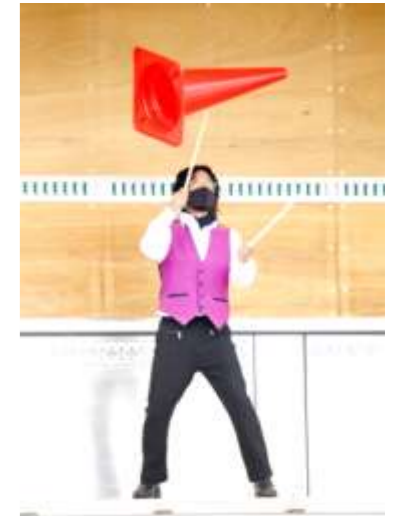


2012-2016

2012年 OMT-JAPAN発足  
 2013年 9月 伏沼区  
 2014年 9～11月 隠谷区、寺崎区、部室区、小岩戸区  
 2015年 7月 自主公演:みの～れ  
 2015年 9月 新田木谷区  
 2015年10～11月 下田二区、西郷地区、栗又四ヶ区、竹原地区コミュニティ  
 2016年 5月 納場地区コミュニティ、玉小学区コミュニティ  
 2016年 6月 自主公演:アピオス  
 2016年10～11月 竹原下郷区、部室区、張星区、中峰区、世楽区

2017-2022

2017年 3月 自主公演:みの～れ  
 2017年 5月 玉小学区コミュニティ  
 2017年 6月 納場地区コミュニティ  
 2017年 9月 清水頭区、伏沼区  
 2017年10月 山野区、玉里東小区・玉川地区コミュニティ、下馬場区  
 2017年11月 与沢区、世楽区  
 2018年 1月 納場地区コミュニティ  
 2018年 2月 自主公演:みの～れ  
 2018年 4月 江戸区  
 2018年 5月 玉小学区コミュニティ  
 2018年 6月 納場地区コミュニティ  
 2018年 7月 橋場美区  
 2018年 9月 晴風園の里、橋向区、自主公演:みの～れ  
 2018年10月 上小岩戸区  
 2019年 1月 納場地区コミュニティ  
 2019年 2月 自主公演:みの～れ  
 2019年 5月 玉小学区コミュニティ  
 2019年 6月 納場地区コミュニティ、こころふれあう羽鳥の会  
 2019年 9月 山川区、自主公演:みの～れ  
 2019年10月 田木谷区、花野井区  
 2020年 1月 納場地区コミュニティ  
 2020年 2月 自主公演:アピオス  
 2020年11月 自主公演:みの～れ  
 2022年11月 かたから朝市  
 2022年12月 はとりクリスマスフェス、空のえき そ・ら・ら





# 「見つける・みがく・光をあてる」芸術展



2004-2006

- 2004年 8月 みの〜れ芸術展はじまる
- 第1回 磯辺末之助(彫刻) 仲村寛(洋画) 大山弘明(テンペラ画)
- 2005年 8月 第2回 小松崎卓(彫刻) 木村華邦(水墨画)
- 2006年 8月 第3回 木村薯山人(水墨画) 野村俊佐久(洋画)



2007-2011

- 2007年 8月 第4回 若泉青陽(書) 藤代範雄(グラフィックデザイン)
- 2008年 8月 第5回 滝平二郎(きりえ)
- 2009年 8月 第6回 明石春浦(書) 永作義弘(日本画)
- 2010年 8月 第7回 仲村無門(洋画) 田口孝子(洋画)
- 2011年 8月 第8回 磯辺末之助(彫刻) 若泉青陽(書)



2012-2016

- 2012年 8月 第9回 大山弘明(テンペラ画) 荒田耕治(陶芸)
- 2013年 8月 第10回 井澤洋子(陶芸) 小林恒岳(日本画)
- 2014年 8月 第11回 宮路久子(彫刻) 落合青光(日本画)
- 2015年 8月 第12回 高橋春夫(陶芸) 町田博文(洋画)
- 2016年 8月 第13回 明石春浦(書) 國司華子(日本画)



2017-2022

- 2017年 8月 第14回 小松崎卓(彫刻) 飛澤龍神(日本画)
- 2018年 8月 第15回(フィナーレ) 15人の合同展
- 2019年 5月 「見つける・みがく・光をあてる」芸術展プロジェクトはじまる
- 2022年 1月 「たまご!?展 宇宙散歩たまご ver.」 イシイキヨコ(デジタルアート)
- 2022年10月~11月 「BIRDぬり絵アーティストたちの芸術展」 おおたけかずみ(BIRDぬり絵)
- 2022年12月 チームBIRDの森はじまる



# 館内通路展示企画 ときめき美の小径

2007-2011

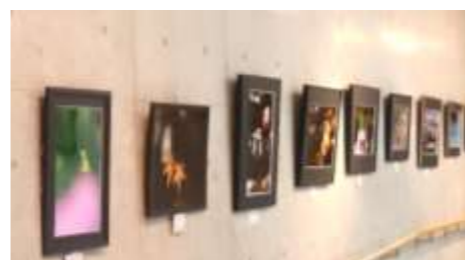
- 2007年 4月 「ときめき美の小径」 はじまる
- 2008年 2月 第1回企画展 「春」
- 2009年 2月 第2回企画展 「花」
- 2009年 7月 福島県諸橋近代美術館視察
- 2010年 2月 第3回企画展 「山河」
- 2011年 1月 第4回企画展 「光と風」
- 2011年 7月 東京都長谷川町子美術館視察

2012-2016

- 2012年通年 みの〜れ10歳記念 「折鶴で巨大な龍を作ろう!!」
- 2012年 2月 第5回企画展 「ときめき」
- 2013年 1月 第6回企画展 「心・こころ」
- 2013年 2月 3ヶ所に手作りの看板設置
- 2013年 2月 千葉県ホキ美術館視察
- 2013年11月 親子企画として、たこづくりWSはじまる
- 2014年 1月 第7回企画展 「感動」
- 2014年 3月 東京都美術館、数学体験館視察
- 2014年 9月 栃木県藤城清治美術館視察
- 2015年 1月 第8回企画展 「過去・現在・未来」
- 2015年 9月 栃木県日光東照宮美術館視察
- 2016年 1月 第9回企画展 「自然の詩」
- 2016年 8月 つくってあそぼう! 竹の水鉄砲!! はじまる
- 2016年 9月 大分県湯布院街並み視察

2017-2022

- 2017年 1月 第10回企画展 「四季の里」
- 2018年 1月 第11回企画展 「ときの流れ」
- 2019年 1月~3月 第12回企画展 「時季彩色」
- 2020年 2月 第13回企画展 「とき・YUME・未来」
- 2021年 1月~3月 第14回企画展 「ひらめき」
- 2022年 3月~5月 第15回企画展 「翔 はばたき」
- 2023年 1月~3月 第16回企画展 「感謝~ありがとう~」





## みの〜れ文化の見本市 小美玉さくらフェスティバル



2003-2006  
2003年 2月 四季の里音楽祭  
2004年 2月 第1回みの〜れ音楽  
2005年 3月 第2回みの〜れ音楽祭  
2006年 4月 四季の里さくらフェスティバルはじまる



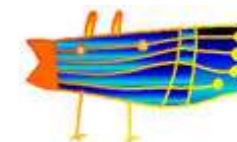
2007-2011  
2007年 4月 テーマ「昭和レトロ」  
2008年 4月 テーマ「アドベンチャー&ファンタジー」  
2009年 4月 テーマ「みの〜れ文化の見本市」  
2010年 4月 小美玉さくらフェスティバルとなる  
テーマ「家族そろって楽しめるアミューズメントパーク」



2012-2016  
2012年 4月 テーマ「みの〜れ冒険王」  
2013年 4月 テーマ「みの〜れ in ワンダーランド」  
2014年 4月 テーマ「みの〜れ万博」  
2015年 4月 テーマ「夢がみの〜れ」  
2016年 4月 テーマ「みの〜れ丸 みの〜れの暴走を君は止められるか？」



2017-2022  
2017年 4月 テーマ「みの〜れGO! ~宙のかなたへ~」  
2018年 4月 テーマ「映画」  
2019年 4月 テーマ「体感」  
※年間を通して、過去のさくらフェスティバルの写真を展示  
コスモス、そ・ら・ら、茨城空港、アピオス、美野里公民館  
2022年 5月 みんなDEわくわくコンサートと同時開催  
※風のホール部門企画  
「巨大キャンパスとハイハイダンボール迷路」



## おやこ音楽企画 みんなDEわくわくコンサート

2002年~ 計21回みの〜れマタニティコンサート開催

2017-2022  
2017年 5月 0才からのみの〜れおやこDEわくわくコンサート  
MAKI (ピアノ) 日比野幸 (ソプラノ)  
島村聖香 (邦楽囃子)  
同時開催: 森のてづくり市

2017年 9月 第22回みの〜れマタニティコンサート  
見澤淑恵 (朗読) 五木田綾 (ピアノ)  
有村実保子 (ヴァイオリン)  
同時開催: HAPPY mama のオトナかわいいマルシェ

2018年 5月 0才からのみの〜れおやこDEわくわくコンサート  
Everly (ピアノ・ヴァイオリン・ギター・パーカッション)  
同時開催: 絵本のかえっこ (コスモスプロジェクト)  
森のてづくり市~ハンドメイドとものづくり体験~

2018年 9月 第23回みの〜れマタニティコンサート  
見澤淑恵 (朗読) 五木田綾 (ピアノ)  
有村実保子 (ヴァイオリン)

2019年 5月 0才からのみの〜れおやこDEわくわくコンサート  
新崎誠実 (ピアノ) 野尻小矢佳 (パーカッション)  
同時開催: 絵本のかえっこ (コスモスプロジェクト)  
森のてづくり市~ハンドメイドとものづくり体験~

2019年 9月 第24回みの〜れマタニティコンサート  
見澤淑恵 (朗読) 五木田綾 (ピアノ)  
有村実保子 (ヴァイオリン)

2021年 5月 0才からのみの〜れおやこDEわくわくコンサート  
鶴木絵里 (ソプラノ) 中川賢一 (ピアノ)

2021年 9月 第25回みの〜れマタニティコンサート (オンライン配信)  
鈴木もえみ (朗読) 遠藤征志 (ピアノ)  
Kiss the Cats (ジャズ)

2022年 5月 ハープとヴァイオリンとうたによる  
みんなDEわくわくコンサート  
梅津三知代 (ハープ) 大河内涼子 (ヴァイオリン)  
大澤建 (バスバリトン) 沢崎恵美 (ソプラノ)







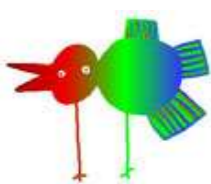
### 住民プロデューサー集団 チーム・アラカルト



みの〜れ創成期に住民プロデューサー育成事業としてはじまった「光と風のステージ」。中庭や風のホールを使い、アルコールも含めた飲食付きのライブで、音楽を中心にさまざまなジャンルから演者を調査して交渉し、企画すること50回。その経験を基に、まちなかのさまざまな場所でライブを中心にプロデュースする集団が「チーム・アラカルト」です。

時には公共施設活性化のために歌声喫茶を、時には飲食店と組んでライブを、時には地域の敬老会までプロデュースします。

「来場が困難な方のために現地で歌声喫茶を開催するなど、芸術文化の振興に寄与した」として、2018年度に新しいいばらきづくり表彰(団体)を受賞しました。



### みの〜れ宣伝美術部 art minole

みの〜れ自主事業のポスター、チラシ等をデザインする宣伝美術部として、2003年に発足しました。

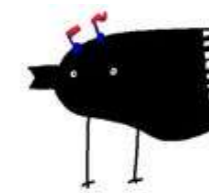
グラフィックデザイナーの宮部浩司さんを講師に迎え、定期的にデザインやキャッチコピー、写真撮影の研修を実施。学んだ成果を生かして数々の作品を生み出してきました。

高校時代にart minoleで活動した成果を生かし、プロのグラフィックデザイナーとして活躍する方も輩出しています。

2021年には、エコバックデザイン作品募集を行い、選定した作品を実際にエコバックとして製作しました。



### 1ドリンク付ライブ企画プロデュース集団 光と風のステージCue



2017-2022

- 2017年度
- vol.39 川嶋志乃舞(津軽三味線) 40 トリグラフ(ジャズ)
- 41 上野耕平(サクセス) 42 code"M"(和楽器・ピアノ)
- 43 住谷美帆(サクセス)

- 2018年度
- 44 柳家さん喬・林家つる子(落語) 45 ラ☆ミッシュ(ポップス)
- 46 山本のりこ(ボサノバ) 47 林家小平太・柳家花ごめ(落語)
- 48 内藤希花・城田純二(アイリッシュ) 49 根木マリサ(ジャズ)

- 2019年度
- 50 vol.50スペシャル 中井智弥・大迫杏子・永峰ゆうこ・遠藤さや(箏・ピアノ・ものまね・ジャズ) 51 柳家喬の字・柳家やなぎ(落語)
- 52 オニツカサリー(ポップス) 53 野尻小矢佳(マリンバ)
- 54 柳家小んぶ・三遊亭伊織(落語)

- 2020年度
- 55 啼鵬(タンゴ) 56 小原孝(ピアノ) 57 皆神陽太(ファゴット)

- 2021年度
- 58 濱田吾愛(フラメンコ) 59 金原亨馬久&春風亭一花(落語)
- 60 田川めぐみ・志野文音(ピアノ・ギター)
- 61 柳亭市童・柳亭市弥(落語)
- 62 Rhodes隊長&Miki隊員(ポップス・ジャズ)

- 2022年度
- 63 岩田卓也・小林鈴勤(尺八・ジャズ)
- 64 三遊亭伊織・林家あんこ(落語)
- 65 みの〜れ20歳記念タンゴキンテート 小林萌里・廣津留すみれ・北村聡・大柴拓・田辺和弘(ピアノ・ヴァイオリン・バンドネオン・ギター・コントラバス)
- 66 山田涼子(オーボエ)
- 67 柿長飛鳥・小林萌里・照沼夢輝(ソプラノ・ピアノ・クラリネット)



## みの〜れ20歳記念事業実行委員会委員コメント

<p>新たな可能性が次々に生まれた20歳記念事業でした。人生山あり谷ありですが、これからの20年は迷わずに！みの〜れらしく、しっかりと歩んでいってほしいです。これからの発展をととても楽しみにしています。</p> <p>実行委員長 瀧澤比佐乃</p>	<p>温かい人たちと一緒に20歳の誕生日を祝うことができて良かったです。20年後も皆さんと関わってみの〜れを盛り上げていく一人でいたいと思っています。みの〜れは不思議なところ…小美玉市に生まれたかったです。</p> <p>副実行委員長・歴史展示チーム 植木美子</p>
<p>20年前、田んぼの神様に出演し、まさか20年後も同じ舞台上に立っているとは夢にも思いませんでした。みの〜れが元気でいるためにも、たくさんの人たちに初めの一步を踏み込んでほしいです。これからもいろいろな形で関わりたいです。副実行委員長・セレモニーチーム 柴山真理子</p>	<p>みの〜れ誕生からの20年は周りがうらやむほど多くの住民が集い、親しまれ愛されて育ってきたんだと思います。これから10年20年先も住民で盛り上げて、皆さんに愛されるみの〜れであり続けてほしいと願っています。</p> <p>相談役・造形チーム 黒田惇彦</p>
<p>今のみの〜れを支えている人たちの笑顔がいっぱい見られて、この笑顔がこれからの歴史をつくっていく人たちなんだと思ううれしかったです。20年前に望んだ通りに育ってくれたみの〜れを見守りたいと思います。</p> <p>相談役・歴史展示チーム 福島ヤヨヒ</p>	<p>今までの20年は人に育てられ成長してきたと思います。次の20年は若い人たちがたくさん関わり成長させる20年であってほしいです。自分たちがパトンを受け取り、しっかりと次につないでいける場所にしていきます。</p> <p>セレモニーチーム 篠原孝司</p>
<p>リレートークで不思議な感動を受け、文化の力で生きる力を感じました。美野里中吹奏楽部の力強い演奏と大人たちのお話が一体化して感無量でした。還暦イヤーでMyuのミュージカルにも参加できてとても幸せです。</p> <p>セレモニーチーム 野手利江</p>	<p>20年前、みの〜れと出会ったことが元気の源になっています。大勢の仲間と出会ったことでたくさん経験やチャレンジをさせてもらい、自分の知らなかった引き出しを見つけることができました。みの〜れは幸せになれる場所です。</p> <p>セレモニーチーム 廣木たみ子</p>
<p>田んぼの神様に出演し、みの〜れに関わり続けて20年。あつという間の20年でした。これからもみの〜れのミッションを大切にしながら、演劇などにぼちぼちと皆さんと楽しく関わっていけたらいいなと思います。</p> <p>セレモニーチーム 山本一恵</p>	<p>リレートークで初めて照明操作をして貴重な体験になりました。これらも子どもから大人まで楽しめる企画ができたらいいなと思います。小美玉市だからこそ素晴らしい文化ホールであってほしいと思います。</p> <p>セレモニーチーム 山本純子</p>
<p>子どもたちは、たくさんのお出来事に触れ合いながら見て聴いて感じ幾つもの色を重ねていく。みの〜れは、多くの夢を持つ子どもたちと年を重ねながらたくさん色が交わり、大きな糸玉となっていくことでしょう。</p> <p>歴史展示チーム 植田みのり</p>	<p>笑ったり泣いたりしながら皆さんと楽しく過ごしたみの〜れの誕生日。人が集い笑顔で帰っていただくことに喜びを感じます。これから先もずっとお客さまに笑顔で「また来るよ」と言ってもらえるみの〜れでいてください。</p> <p>歴史展示チーム 加藤篤子</p>
<p>20歳の誕生日らしく、おしゃれで心に残る晴れの日に関わることができました。みの〜れが生まれたことで私の人生が楽しくなりました。これからも、みの〜れ育てをしながら自分も成長していきたいです。</p> <p>歴史展示チーム 藤田佐知子</p>	<p>芸術と地域、環境問題を考えることができました。オンライン参加だったので、実際に地域の方々と関わる機会を増やし、みの〜れと地域の関係性を探していきたいです。企画だけでなく、自分のあり方を見つめたいです。</p> <p>歴史展示チーム 矢口菜樹</p>
<p>20歳の節目を迎えて、みの〜れが皆さんと共に盛り上がっているのを見ていたら、30歳はもう少し派手にお祝いすることができたらいいなと思いました。コロナ禍で心配しましたが無事、誕生日を祝うことができて良かったです。</p> <p>造形チーム 柳井郷平</p>	<p>はじめましては20年以上前。みの〜れ建設当時描いた、工事囲いのフェンスアート。子どもと出演した、こけら落とし公演までの長い道のり。通路彩るボランティアときめき隊。日本文化継承、美野里舞踊連盟第78回公演。みの〜れ、未来へ永遠につながれ！</p> <p>造形チーム 崎尾裕子</p>
<p>みの〜れ愛がたくさんつまった人たちと関わり、充実したみの〜れ時間を楽しんでいます。みの〜れに10年かかわってきました。これからも可能な限りここで子どもたちのための企画を考えていきたいです。</p> <p>造形チーム 白土礼子</p>	<p>子どもたちの笑顔を見ながら、10年20年先に、みの〜れでこんなに楽しいことをやっていたんだなって、ふと思いついてもらえたらいいなと思いました。写真撮影でいろいろな人と出会えて楽しかったです。</p> <p>造形チーム 宮下一恵</p>
<p>陽だまり隊で活動して、小美玉市にはエネルギーな人がたくさんいることを知りました。皆さんと関わることで、自分も何かやれるかな？やってみようかな！という気持ちになれる場所が、私にとってみの〜れです。</p> <p>造形チーム 吉沢久美子</p>	

## 編集後記

編集長 野手利江

開館時に『文化がみの〜れ物語』10歳に『まちづくり編集会』を発刊しました。15歳とこの20歳では記念誌を創りました。みの〜れ20歳記念事業を全て掲載するため、年度末の完成となりました。この記念誌完成をもって、みの〜れ20歳記念事業も幕を閉じます。

さまざまな社会的要因から厳しい活動を強いられたこの数年、各団体や組織で大変な苦労や尽力があったものと思われまます。それでも工夫しながら活動を止めなかつた皆さんに敬意を表します。読者の皆さまにも伝わりましたら、幸いです。

20年経った今、ホワイエから眺める桜はあふれんばかりです。桜の花の合間から見える子どもたちの遊ぶ姿が美しいです。枝が太くなり、幹もたくさん増えました。みの〜れと同じです。多世代で住む場所関係なく人々が交流しています。この景色を楽しむ一住民として、これからも関わっていききたいです。

## 編集長 取材・執筆

野手利江  
加藤篤子  
瀧澤比佐乃  
福島ヤヨヒ  
藤田佐知子  
赤上恵  
齋藤友幸

## 撮影